

# 若 鮎



HPで活動の様子を  
紹介しています。

## 元気な子供たちと新たな挑戦を

校長 竹内 聖子

夏休みが終わり、2学期が始まりました。「1学期に種を植えて芽を出した花を大きく咲かせ、実をつける」2学期にしたいと思います。2学期は様々な挑戦をします。たにはまランでの持久走への挑戦、新しい方法で行う谷浜文集、里神楽の伝承、自分たちでつくる文化祭ステージ発表、児童が進めるプロジェクトの取組、学習課題を子供とつくる授業への挑戦などです。

さっそく、2学期の授業で新たな挑戦をしている様子を見付けました。右の写真は、3・4年生の理科の授業で「電気のナゾを解明しよう!」という学習をしているところです。この時間は、電池・モーター・プロペラ・豆電球・回路の途中に入れる材料（ハサミ・クリップ・分度器・ペン）を自由に使って、電気を通してみようと、次々と試していました。試しながら「間に入れるものによって、豆電球がつく時とつかない時があるよ」「電池を2個つなげてみたらどうなるかな」「プロペラが反対に回っちゃったのはどうして?」など、疑問が次々と出ていました。その後の授業では、自分たちで課題を決め、自分たちでナゾを解明しようと頑張っていました。



左の写真は、1・2年生の図工の学習の様子です。紙コップやストロー・プチプチシート・れんこんなど様々な材料を選んで、インクを付け、スタンプで模様づくりを楽しんでいるところです。何を選ぶか、どうスタンプするか自分で考えて試したり、友達からヒントを得たりして作品づくりを楽しんでいました。物と対話し、友達と対話し、試行錯誤により学びを深めていました。

このような「学びをつくる」子供たちは、「考える」「相談する」「決める」「試す」行動をしています。2学期は、元気な子供たちと一緒に、「つくる」活動に挑戦していきます。今後の子供たちの活躍が楽しみです。2学期も、よろしくお願いいたします。

### 谷小応援団の皆様へ感謝!

9月には上越市親善陸上大会、10月にはたにはまラン（マラソン大会）があります。当然、グラウンドを使うのですが、8月までは雑草だらけで外来種の花が生い茂り、走ることもままならないグラウンドでした。谷小応援団の皆様が何日もかけて草刈りをしてくださったおかげで、グラウンドでたくさん練習できるようになりました。本当にありがとうございました!

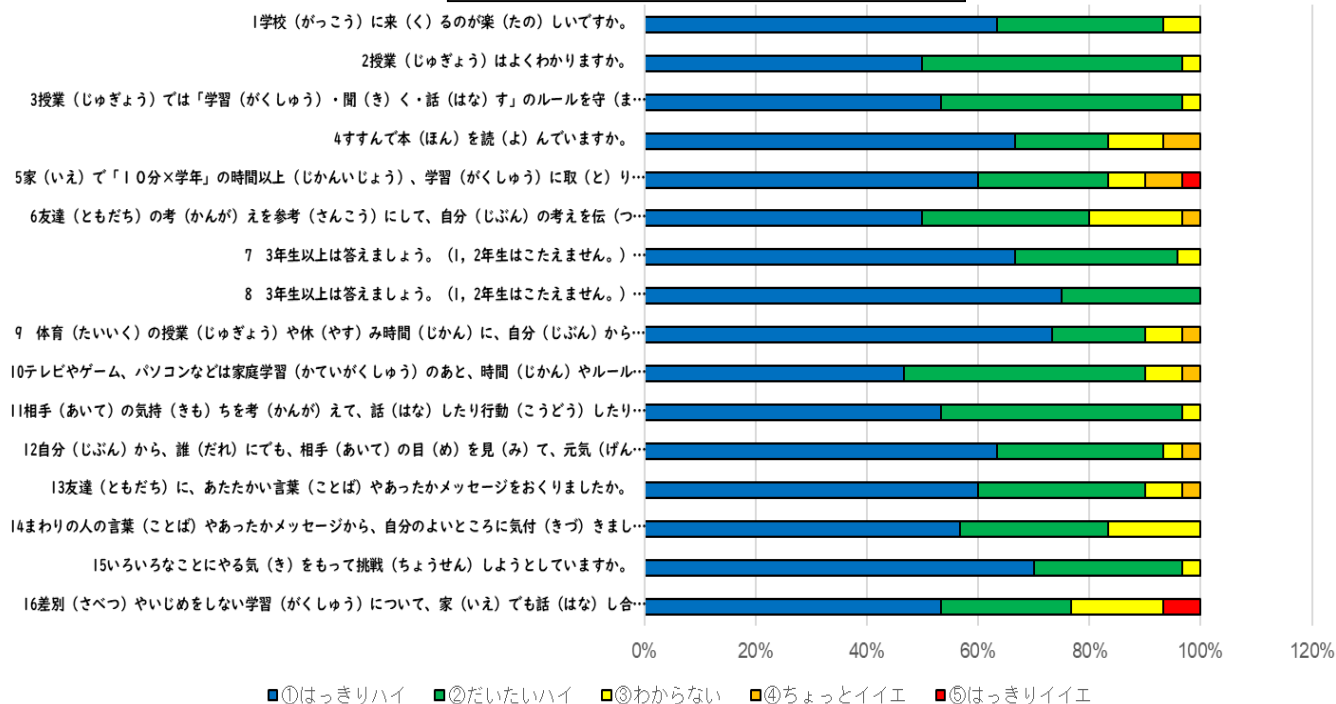


走るコースです

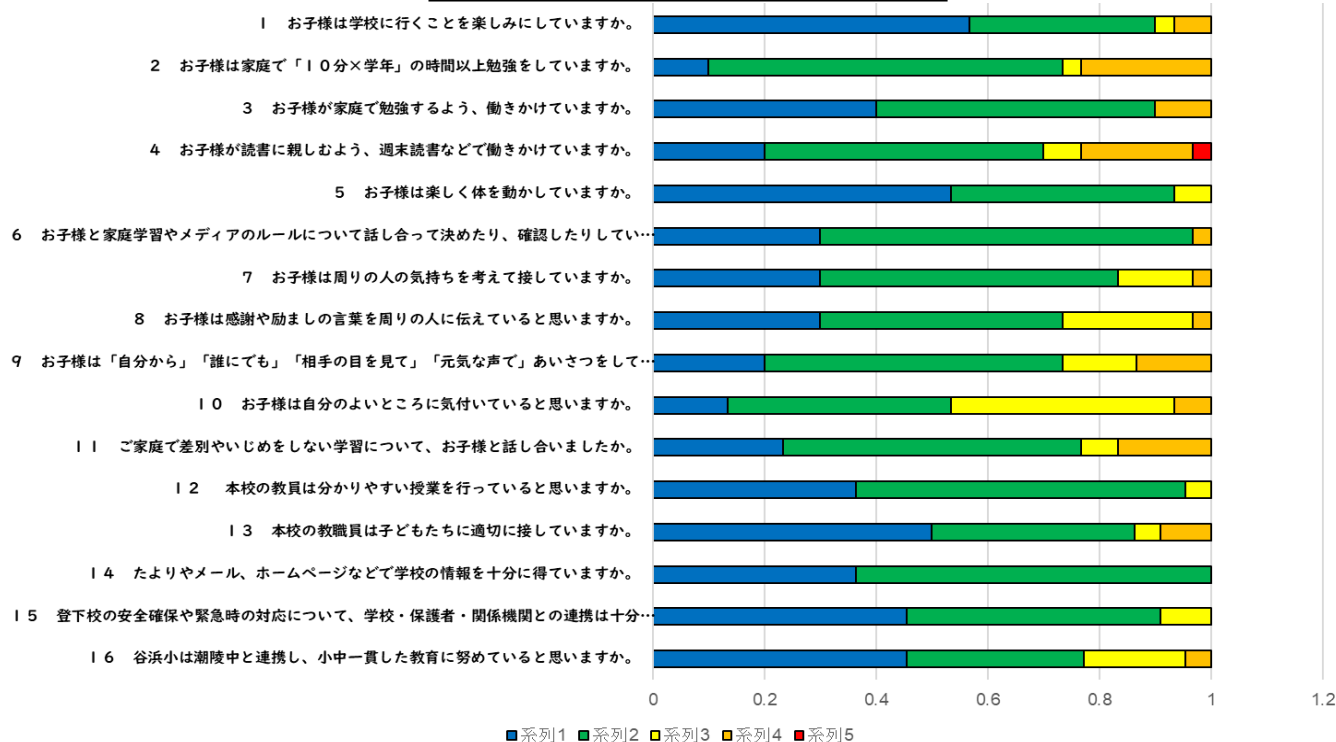
## 前期学校評価について

7月に実施した保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。結果がまとまりましたのでお知らせします。

### 1学期 児童アンケート



### 1学期 保護者アンケート



## 「学び」について

4月に行ったNRT学力検査の全校平均は、国語、算数ともに全国平均を上回りました。また、1学期の単元ワークテスト（国語、算数）は、平均点が期待値以上になった単元が80%を上回りました。少人数の細やかな指導が、基礎学力の定着につながっていると思います。一方で、各種学力調査結果から、当校の児童は、思考力・判断力・表現力を必要とする問題に課題があることが伺えました。文章等から情報を正確に読み取る力と自分の考えを筋道立てて説明する力を付けていく必要があります。

学び合いに関する児童の肯定的評価は80%を超え、授業や生活の中で話し合いの機会が増え、話し合うことが上手になってきたことが伺えました。2学期も引き続き、授業での交流場면을積極的に設定し、「対話を通して生き生きと学ぶ」姿を目指します。

家庭学習の取組については個人差が大きいですが、「課題に取り組まなければならない」という意識は、全体的に高まってきました。望ましい家庭学習習慣の定着のためには、保護者の皆様のご協力が欠かせません。お子さんの学習の様子を見ていただいたり、励まし、称賛の声掛けをしていただいたりするなど、今後もご協力をよろしくお願いします。

## 「健康」について

進んで体を動かしたと答えた児童の割合は90%と高かったのですが、1学期は体育館内での遊びが多かったです。そこで2学期は、グラウンド全体を使った遊びを奨励していきます。また、今年度から取り入れたサーキットトレーニングでは楽しく運動することができました。2学期は、月2回程度に回数を増やす予定です。さらに、10月の持久走記録会に向けて、自主的に取り組めるよう指導の工夫をし、走力を高めていきます。

メディア利用に関する肯定的評価も90%と高かったのですが、個人差が大きいです。7月の小中合同学校保健委員会では、メディアの長時間利用と脳の働き（学習効率の低下）について学びました。学校では、発育測定の前、全校児童に指導しました。子どもたちが上手にメディアと付き合う力を付けるためには、ご家庭での指導が欠かせません。健康週間だけでなく、日常的にめあてやルールを守って生活できるように、お子さんへの働きかけをお願いします。

## 「心」について

相手の気持ちに配慮した言動についての肯定的評価は、児童96%、保護者83%と高かったです。日常的に、男女、学年を問わず、互いを思いやり生活している様子が見られます。一方で、相手への配慮に欠けた自己中心的な言動からトラブルが生じてしまう場面もありました。トラブルは子どもの成長のチャンスと捉え、今後も丁寧に指導していきます。ご家庭に協力をお願いすることもあるかと思います。よろしくお願いします。

自分のよさへの気付きについての肯定的評価は、児童84%に対して、保護者53%でした。あったかメッセージ交換などの活動により、児童の評価は上がってきています。ご家庭でも子どものよさを認める声掛けや努力したことへの称賛を継続していただき、自分に自信をもてるようにしましょう。2学期は、持久走記録会、小中合同文化祭など、互いのがんばりを認め合える機会が多くあります。学校と家庭とが協力して、児童の自己肯定感を高めていけるよう、発信していきたいと思います。

あいさつに関する肯定的評価は、児童93%、保護者73%でした。あいさつは、まずは大人が手本となることが重要です。家庭でも、学校でも、地域でも、大人から積極的に明るいあいさつを心掛けましょう。

## 自由記述について

「授業が楽しいと言っています」「俳句の賞状をもらって喜んでいます」「毎日楽しく学校に行っています」「活躍の場を与えていただき感謝しています」など、嬉しいご意見をいただきました。このような保護者の皆様の温かなお声を励みに、今後もがんばります。

また、「社会環境の変化に伴って『これまで当たり前だったことでも、今はできないこと』などがあれば、家庭や地域にお知らせいただくとよいかもしれない」というご意見や、子どもたちの自己理解の力やコミュニケーション能力を高めるために学校と連携していきたいというご意見もいただきました。谷浜小学校は、保護者、地域の皆様のご協力が大きい学校であると感謝しています。今後も、必要な情報はしっかりと発信し、家庭と連携を図りながら、子どもたちの教育にあたります。よろしくお願いいたします。